



学校法人 ヴォーリス学園
Vories Gakuen

vol.
225

2026
May

一粒の麦

Salt of the Earth Light of the World
学園訓「地の塩・世の光」

共に重荷を担う歩み

疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。
休ませてあげよう。
わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛くびきを負い、
わたしに学びなさい。
そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。
わたしの軛くびきは負いやすく、
わたしの荷は軽いからである。

Column 「いのちの光」

学園チャプレン 浅居 正信

現代社会は効率や速さが追求され、私たちは仕事、人間関係、将来への不安といった目に見えない多くの「重荷」を背負っています。立ち止まることさえ許されないような焦りの中で、心身ともに疲れ果ててしまうことも少なくありません。そのような私たちに、聖書は「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」という、力強い招きの言葉をかけています。このイエスの招きは、「問題を解決してから来なさい」という条件付きのものではありません。重荷を背負ったままの今の姿で来なさい、という無条件の受け入れなのです。これは人生の課題を魔法のように消し去るということではなく、神様が私たちの隣に立ち、その重みを共に分かち合ってくださいることを意味しています。自分一人では絶望的に重かった荷物も、神様が足並みを揃えて共に歩んでくださることで、私たちは安心して前を向くことができるのです。心が重いと感じたとき、祈りを通じてその「荷物」を主に預けてみてください。たとえ状況がすぐに変わらなくとも、共に担ってくださいる存在を信じることで、再び顔を上げる力が湧いてくるはず。重荷を抱えたまま、イエスと共に歩む。その歩みの中にこそ、本当の自由と安らぎがあることを信じて、この一年を過ごしていきましょう。

ヴォーリス学園報 hitotsubunomugi 2026



発行：学校法人 ヴォーリス学園
発行責任者：藤澤俊樹
印刷：近江印刷株式会社
〒523-0851
滋賀県近江八幡市市井町 177
TEL：0748-32-3444



「新しい学園のカタチを求めて」



理事長 藤澤 俊樹

社会は激変し、あらゆる組織（システムも）が改革を迫られる中、「学校(教育)が一番遅れている」と批判されます。教育(保育)という仕事は、変えてはならないことが多い営みですが、必要な改革をやり抜く勇気も持ちたいと思います。

私学が大切にしなければならないキーワードは、「自主性」と「公共性」です。今年度より「高校授業料無償化」がスタートし、私学に通う高校生にも45万7200円を上限に授業料支援がなされます。今後、私学は大きくそのカタチを変えるでしょう。公的資金による支援が拡大されるわけですから、本学園も、今まで以上に「公共性」を高め、地域と連携し、地域にとってなくてはならない私学とならなければなりません。

一方、この支援は学園への「補助金」ではありませんから、「自主性」もこれまで以上に発揮したい。私学の「自主性」とは、時代が如何に変化しようとも守り続ける「建学の精神」であり、新しい時代を牽引する「進取の気風」です。現代社会には「答え」が容易に見つからない困難な課題が山積みです。温暖化などの自然環境問題、少子化などの社会環境の変化に加え、戦火が止まず、人間のいのちや尊厳が傷つ

けられている世界情勢等々数えればきりがありません。

今、求められる学びは、教員が発した問いに、適切な「答え」をすることが求められるといった従来型の学びではなく、自ら問い、考え、仲間と学び合う探究型、共同型の学びです。

設計変更等で遅れていたラーニングコモンズ建設工事も、ようやくスタートしました。新校舎を中心に、キャンパス全体を新しい教育のステージとして、さらに全学園をつなぐコモンズ（共有地）として整備します。必ずや「リアルに集まる価値」が最大化されるキャンパスを創り上げます。

守山から東近江にかけて6園に広がったこども園・保育園に加えて、同時進行中のプロジェクト（ハイド記念館を活用した「ヴォーリズミュージアム構想」、浅小井校地を活用した地域交流拠点作り「ヴォーリズみらいビレッジ構想」）を合わせて、1年後にはヴォーリズ学園の新しいカタチが見えてくると思います。どうぞご期待ください。



Entrance Ceremony Report 2026

TOPICS

中学

中学入学式

4月7日(火) 礼拝堂にて、近江兄弟社中学校の入学式を挙行了しました。真新しい制服に身を包んだ114名の新入生が、保護者や教職員らに見守られ、晴れて学園の仲間入りを果たしました。



<中学校新入生代表挨拶より 門川 咲優>

春のやわらかな風が心地よい季節となりました。本日、私たちは近江兄弟社中学校に入学を許可していただき、この学校の一員となれたことを、とてもうれしく思っています。今、私たちは、夢や希望で胸をふくらませる一方で、新しい生活への少しの不安や緊張も感じています。けれど、今日ここで新しい仲間と出会い、これから始まる学校生活を思うと、わくわくする気持ちの方が大きくなっています。

校長先生をはじめ、先生方、在校生のみなさん、本日はこのような温かい入学式を開いていただき、本当にありがとうございます。中学校では、勉強もさらに難しくなり、部活動や行事など、新しいことにたくさん挑戦する毎日が始まります。私たちは仲間と支え合いながら一つの経験を大切に、少しずつ成長していきたいと思えます。そして、先輩方の姿をお手本にしながら、近江兄弟社中学校の生徒として自覚をもち、思いやりの心を忘れずに過ごしていきます。

聖書には、「あなたがたは地の塩である。」「あなたがたは世の光である。」という言葉があります。この言葉はヴォーリズ学園の校訓としても受けつがれていると聞いています。私は、あなたたちが世が悪くなるのを防ぎ、良い方向へ導くため努力しなければならないという意味だと思います。この言葉を常に心に置いて仲間とともに世のためとなれるよう勉強や学校生活を精一杯努力して、くいのない中学校生活を送りたいです。

最後になりますが、これから指導して下さる先生方、いつも支えてくれている家族のみなさま、どうぞよろしくお祈りします。私たち新入生一同、精一杯努力することを誓い、新入生代表の言葉といたします。

2026年 4月7日



TOPICS

高校

高校入学式

4月8日(水)、メインアリーナにて近江兄弟社高等学校の入学式を挙行了しました。穏やかな晴天に恵まれ、満開の桜が門出を祝うなか、425名の新入生が本校の門をくぐりました。新入生代表は、文武不岐の生活を通じ、学園訓「地の塩 世の光」を体現するような隣人愛あふれる人に成長したいと、力強く決意を述べました。

<高等学校長 春日井 敏之 式辞より>

みなさんが本校を選択していただいた経緯は、一人ひとり異なるかと思えます。大切なことは、これまでの小さな自己決定の積み重ねの結果、何と425名が今日ここで出会えたということです。この出会いは決して偶然ではなく、みなさんが小さな自己決定を積み重ねた結果生まれた奇跡の出会いだと思えます。この出会いをお互いに大切にして、3年後の卒業の日に、

近江兄弟社高等学校が自分の人生にとって第一希望の学校になったと心から言い合えるようにしてってください。私たち教職員は、そのために伸びしろにあふれたみなさんのことを、全力で応援していきます。(抜粋)





VECC TOPICS

近江兄弟社ひかり園

入園式

やわらかな春の光に包まれ、桜の花びらがひらりひらりと風に舞う中、今年も心あたたまる入園式の日を迎えることができました。4月6日(月)、本園に、新しく35名の子どもたちが元気に仲間入りしました。

はじめての場所、はじめての先生、はじめてのお友だち。たくさんの「はじめて」に出会うこの春は、子どもたちにとって大きな冒険の始まりです。

ときには戸惑いながらも、少しずつ笑顔が増えていきますように。新しい環境の中でも、神さまに愛されている安心を土台に、子どもたちが笑顔で自分らしく歩いていくことを願っています。春のやさしい風とともに、新しい物語が始まります。



台湾交流校 「衛理女子高級中学」 が来校

TOPICS 国際交流

昨年11月に行われた海外研修旅行で交流した、台湾の衛理女子高級中学校の生徒99名と先生方5名が4月10日(金)に本校を訪れました。研修旅行でお世話になった本校ASC3年生の生徒たちが講堂で出迎え、ウエルカムセレモニーを行いました。両校の校長先生の挨拶や生徒代表の挨拶の後、交流校の生徒による合唱や日本と台湾に関するクイズ大会などで盛り上がりました。その後グループに分かれて市内の散策を予定していましたが、雨天のためそれぞれの教室に分かれ、けん玉や福笑いなど日本の遊びと一緒にして親交を深めました。



DX

特集

高校デジタルサイネージ設置



高校では2026年1月にデジタルサイネージを4基設置しました。校内のニュースや行事の案内、放課後ゼミ「100ワク」、生徒の制作物等の情報を発信し共有したいと考えています。そのなかで写真部のみなさんには風景写真等の作品提供をしてもらっています。特に2月以降は「部活動紹介」として部活動の魅力発信として活動風景の撮影に協力してもらい、その作品をサイネージで投影しています。



DXハイスクール
特設サイト



校内が虹隣祭一色になるように、
デジタルサイネージを
ジャックしたい!

虹隣祭

●事前

・7月に控えた虹隣祭の説明会の連絡を掲示
(学年会議、部活、有志発表、体育の部エントリー)

●当日

・各クラスのPR動画上映
・部活・有志発表の猛烈PR

●事後

・虹隣祭の思い出を掲載
・生徒会活動のアーカイブを掲載

【生徒会】



いろんな部活動を撮影することができてとても楽しかったです。またデジタルサイネージで私達の写真を見てもらえるのも嬉しいです。これからも行事や校内の様子を撮影して、皆に楽しく見てもらえるように頑張ります。

【写真部】



Pic up

新学期がスタート! 各校園でのイベントについてご紹介♪

高校 ASC Day Camp

4月13日(月) ASCデイキャンプを実施しました。まずは「聞くあいうえお」の実践から。相手の話に耳を傾けるとい、シンプルながらも大切な心のあり方を皆で共有しました。

続く「マシュマロチャレンジ」では、教室のあちこちで歓声が上がります。突飛なアイデアを面白い「拡散」と、現実的な答えにまとめる

「収束」。偶然同じグループになった仲間と頭を突き合わせ、一つの「納得解」を形にしていくプロセスは、驚きと笑顔に満ちていました。



高校 単位制ハイキングで笑顔満開 —新緑の八幡山を歩く—



4月25日(土) 朝から絶好のお出かけ日和の中、単位制ハイキング参加者90名が八幡山頂上を目指して歩きました。八幡公園でストレッチや登山のマナーを学んだ後、1回生を先頭に自分のペースで一歩ずつ歩みを進めました。山頂に着き、びわこ一望の元で記念写真をとり、映えスポットを満喫しました。下山後は疲れも見せず八

幡公園でドッチボール大会をして盛り上がりました。先輩後輩の壁を越えて仲良くなり、新入生の緊張もほぐれた一日となりました。



高校 ICC 新入生オリエンテーション合宿

4月16日(木)から一泊二日、大津市の同志社リトリートセンターにてICCオリエンテーション合宿が行われました。新入生54名は、留学生や「パティ」と呼ばれる2・3年生の先輩たちに支えられ、英語の校歌練習や多彩なアクティビティーに挑戦。琵琶湖を望む丘での礼拝など、自然豊かな環境で英語に親しみました。



合宿のメインプログラムであるグループプレゼンでは、パティや留学生、先生たちの助けも借りながら、ポスターを制作し、ヨーロッパの魅力英語で堂々と発表しました。入学直後の不安を乗り越え、共に過ごす大切さを学んだ新入生。この二日間で深まった絆を糧に、実りある学校生活を送ることを願っています。

中学 中学校生活のスタート

2026年度は114名の新入生を迎えスタートしました。4月7日の入学式から毎日が「初めて」の連続です。そんな新入生の強い味方が先輩たちです。

先輩たちの様々な場面での丁寧なサポートは、新入生のたくさんの「初めて」を「ワクワク」に変えてくれました。



生徒会入会式
生徒会執行部から委員の仕事について説明



クラス礼拝



クラス礼拝

聖書や賛美歌の聞き方から礼拝の進め方まで、3年生が丁寧にサポート

そのの鳥こども園 春のつどい

4月9日(木)に3~5歳児がホールに集まって『春のつどい』を持ちました。

3歳児は初めての礼拝。4・5歳児のお兄ちゃん・お姉ちゃんとの讃美歌やお祈りに合わせ、1つ大きくなったことを神様に感謝し、新しい1年を守ってくださいとお祈りました。23名の新入園児を迎え、2026年度が始まりました。

子どもたち一人ひとりが大きくなったことを喜び、自信とともに少しの緊張を抱えて過ごしているそのの鳥こども園の子どもたちです。



中学 新入生へクラブ活動紹介

クラブ紹介



おしえて先輩



クラブ紹介の他にも、各クラブブースを設け、クラブ活動の詳細を聞ける時間を設定しました。心配事も解消して安心してクラブを選択することができます。



2026年度 学校法人ヴォーリズ学園各事業所 および生徒・園児数 (2026年4月1日現在)

近江兄弟社高等学校 (学年制:ASC・GLC国際コミュニケーション科 単位制)	1,126名	ヴォーリズ・エデュケアセンター (認定こども園) 近江兄弟社ひかり園	1,016名
近江兄弟社中学校	335名	(認定こども園) もりの風こども園	182名
小計	1,461名	(認定こども園) そらの鳥こども園	181名
		(認定こども園) ほしの恵みこども園	136名
		(認可保育所) 安土ののはな保育園	145名
		(認可保育所) ふるたか虹のはし保育園	173名
			199名

生徒・園児総数 2,477名

2026年度 理事・監事・評議員一覧

理事・監事

理事長	藤澤 俊樹	常任理事	山崎 直	事務長
常任理事	小野 春男	学園長	奥 達夫	
常任理事	安川 千穂	副学園長、学園本部長	理 事	辻 昌宏
常任理事	春日井敏之	高等学校長	理 事	上野 昌志
常任理事	中島 薫	中学校長	理 事	蔭山 孝夫
常任理事	田邊理恵子	もりの風こども園長	理 事	筈井 昌彦
常任理事	浅居 正信	チャプレン、 ヴォーリズ・キリスト教平和センター長	理 事	尾賀 康裕
常任理事	石田 正博	高等学校副校長	監 事	小西 勉
			監 事	川森 勇次

評議員 (2026年4月1日現在)

第1号評議員 (教職員)	第2号評議員 (卒業生)	第3号評議員 (近江兄弟社社員)	第4号評議員 (管理職)	第5号評議員 (学識経験者)
片山 聡	立岡 希夫	澤谷 久枝	植田 健	嶋之浦 正
野本 実希	徳永 久志	藪 秀実	山本 徹郎	高橋 修子
川崎 光穂	本村 隆行	中塚 正俊	立岡ひとみ	大前かおり
森 裕子	青木香麻利			松野 貴恒
	長尾 令子			松山 敦司
	富田 朋代			眞寄仁太郎

新たに任命された管理職

近江兄弟社ひかり園 園長	森 裕子	近江兄弟社ひかり園 副園長	富永 舞
ほしの恵みこども園 園長	川村 葉子	ほしの恵みこども園 副園長	佐々木 恵

新たに採用された教職員

高等学校	奥村 悠	近江兄弟社ひかり園	夏原 友美
高等学校	中野 琴湖	近江兄弟社ひかり園	杉友 昌子
高等学校	福山 恭平	そらの鳥こども園	田中 優子
高等学校	中川 百合	そらの鳥こども園	赤塚 亜希
高等学校	荒生恵美奈	そらの鳥こども園	石川 聡子
		安土ののはな保育園	青木 葵





2025年度末退職教職員

学園本部	松田 保	安土ののほな保育園	衛藤 聡
高等学校	岡本 麻希 (※)	安土ののほな保育園	岩佐 瑞稀
高等学校	和田 正泰 (※)	安土ののほな保育園	ドアンティ ミアン
高等学校	杉田 信也	もりの風こども園	中川 愛
高等学校	西村 賢介	もりの風こども園	西城 瞳
高等学校	那須 英寿	ふるたか虹のはし保育園	濱島 成美
中学校	鈴木 泉 (※)	ふるたか虹のはし保育園	比嘉 美優
近江兄弟社ひかり園	赤尾 恭子	ふるたか虹のはし保育園	福田 実広
近江兄弟社ひかり園	北川 智尋		
近江兄弟社ひかり園	村西紗也加		

(※)非常勤にて継続

2026年度 学園年間行事予定

4月7日(火)	中学校入学式	12月18日(金)	近江兄弟社クリスマス
4月8日(水)	高等学校入学式	1月16日(土)	中学校一次日程入試
4月4日(土)～8日(水)	VECC入園式	1月17日(日)	中学校二次日程入試
6月11日(木)	新恵愛館起工式	2月2日(月)	近江兄弟社創立記念式
8月23日(日)	学園創立記念日(式典等は行いません)	2月1日(月)・2日(火)	高等学校入試
10月25日(月)～11月2日(月)	ヴォーリズメモリアルウィーク	2月6日(土)	中学校三次日程入試
10月31日(土)	ヴォーリズデー	2月26日(金)	学園賞表彰
11月17日(火)	いのちと平和の集い	2月27日(土)	高等学校卒業式
11月30日(月)	アドベント礼拝	3月5日(金)	中学校卒業式
		3月13日(土)～20日(土)	VECC卒園式



2026年度 オープンキャンパス・入試日程

中学校	▶オープンキャンパス日程	▶模擬試験	▶入試日程
	第1回 6月 6日(土)	第1回 10月10日(土)	一次日程 1月16日(土)
	第2回 8月 1日(土)	第2回 11月14日(土)	二次日程 1月17日(日)
	第3回 9月12日(土)		三次日程 2月 6日(土)
	第4回 10月31日(土)		
高等学校	▶オープンキャンパス日程	▶入試日程	
	第1回 6月20日(土)	第4回 10月17日(土)	学科試験 2月 1日(月)
	第2回 7月25日(土)	放課後 11月11日(水)	面接試験 2月 2日(火)
	第3回 9月 5日(土)	第5回 11月28日(土)	

△単位制学校見学会同日開催



2026年度 入試結果報告

中学校

	志願者	受験者	合格者	入学者
1次日程専願	98	96	94	94
1次日程併願	15	15	14	6
2次日程専願	5	4	3	0
2次日程併願	9	9	9	3
3次日程専願	9	11	10	10

高等学校

	志願者	受験者	合格者	入学者
普通科専願	322	322	319	319
普通科併願	875	871	867	52
ICC専願	57	57	54	54



同窓会 Information

卒業生と
ヴォーリス学園をつなぐ

毎年、山の日に開催される同窓会総会は、懐かしい学び舎での旧友や先生方との再会の場となっています。総会のみならず、辻友子氏の講演や礼拝を通じて心豊かなひとときを同窓生の皆さんと過ごしたいと願います。

2026年度 同窓会総会のお知らせ

日時

2026年8月11日(火・祝)

受付：10時～

1部：10時30分～ 2部：11時30分～

場所

ヴォーリス平和礼拝堂(ヴォーリス学園本館5階)

1部：礼拝・総会議事

2025年度事業報告、決算

2026年度事業計画(案)、予算

その他

2部：記念講演

ハイド記念館館長 辻 友子先生

TOPICS

学園

新恵愛館(建築工事名:ラーニングcommons建築) 起工式

日時 2026年6月11日(木)
9:30～

建設予定地の中庭にて、礼拝形式で起工式が行われます。

起工式後は、サポーターズオフィスにてラーニングcommons構想についての説明の時を持ちます。

昨年7月より旧恵愛館の解体工事が始まり、10月末には解体工事が完了しました。今年3月に地質調査や樹木の移植等を終え、5月中旬より準備工事(仮設準備)も開始されました。いよいよ7月より本格的な新築工事が始まります。建築規模は鉄筋コンクリート造、2階建て延べ面積約995㎡、学園本館及び希望館から2階・屋上への通路もつけられ、来年の7月には完成する予定です。工事の様子はホームページ等でもお知らせいたします。

新恵愛館HP



第2期「ヴォーリスみらい構想」募金へのご協力のお願い

<寄付者名簿(敬称略)>

第2期「ヴォーリスみらい構想」

2022年6月から2026年4月末までにたまりました第2期「ヴォーリスみらい構想」寄付金は、合計40,227,911円に達しました。皆様のご支援に厚く御礼申し上げます。2026年1月から4月末の間にご寄付くださいました方のお名前を記して感謝の意を表します。

学園後援会10,000,000円、小林しのぶ500,000円、匿名300,000円、匿名300,000円、田端嘉伸50,000円、サンライズ出版株式会社50,000円

5万円未満 中川浩斥、藤本雄一、川田慎一郎、西澤政男、高原恵里、小川隆弘、水谷真逸、中山亜紀、宮本綾子、岡崎利彦、松本敦子

特別寄付

2026年1月から4月末までに特別寄付金をたまりました皆様のご支援に厚く御礼申し上げます。下記にお名前を記して感謝の意を表します。

学園後援会5,576,037円、近江兄弟社高等学校(卒業生保護者)1,750,000円、株式会社ピワ化工500,000円、大新産業株式会社500,000円、医療法人きしだ皮ふ科クリニック500,000円、近江兄弟社中学校(卒業生保護者)258,000円、三崎正行100,000円、学園同窓会70,000円

5万円未満 藤本雄一、山本 巖、桂 弘美、勝 景子、古株卓磨、根本潤子、池田千恵子、杉本紘一、仲野純子、近江兄弟社総合サービス有限会社、藤関 徹、高辻秀昌、藤川征士、村上朱美、澤本陽介、井上俊夫、金桂真知子、CHIANG PEI HSUAN、戸間香代子、久野寿久、田村亜希子、夏原さゆり、山本英樹、山崎 直

※その他多くの方より、現物寄付をいただいております。

